

福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース



発行
第五福竜丸平和協会
〒136-0081 東京都江東区
夢の島3-2
都立第五福竜丸展示館内
電話 03-3521-8494



「お父さん早く帰ってね」東京の病院へむかう「愛吉さん」を送るお母さんと三人の姉妹。右端が寺本優子さん。(寺本さんの「第五福竜丸」のアルバムか)

私の「久保山愛吉」さん像

寺本 優子

ビキニ環礁で被爆された、久保山愛吉さんが亡くなられて、今年は四十四回忌を迎えられるそうですが、私は、現実にお目にかかった事はありませんでしたが、私にとっては決して忘れられないお名前であり、ある種の懐かしさを伴って思い出されます。

あの出来事を忠実に再現し、一大記録として残す為に、新藤兼人監督が「第五福竜丸」のタイトルで映画化さ

れ、その中で、久保山愛吉さんの長女と次女の役で私と妹が出させて頂きました。オーディションで選ばれこれ一つのご縁でしたが、久保山さんの役は、宇野重吉さん、お母さんは、乙羽信子さんでした。その時のお父さん、(久保山さん)のイメージが私の中で本当のお姿として焼き付いております。そこから想像し、すばらしい方だと思います。仕事にかけける情熱、たくましさ、とっさの判断力、機転という意味で大変優れておられたようです。実際の宇野さんは、その役の中ではそれらしく、撮影を離れると、とても明るく楽しい方でした。

私は、去る七月二十五日に、「核戦争防止和歌山県医師の会」の十周年記念にお招きを受け、「平和への思いと第五福竜丸」というタイトルで講演させて頂き、その後上映させて頂きました。つたない私の話をご静聴下さり、その後事務局長の小松様が、懇親会の席で、先生方を紹介して下さいました。先生方も、私の話の中で宇野重吉さんのエピソードや撮影中の思い出話を総合して映画をご覧になったので、より一層映画を味わって頂いたようでした。その折にお話したのですが、宇野さんや乙羽さんの演技力には、本当に引き込まれて、私も臨場感いっぱい何とか撮影を終える事が出来たと思えます。撮影中の思い出のいくつかを、紹介させて頂きます。被爆後の皆さんは色焼けの為、かなり濃い色のドーラン化粧が必要になり、顔作りに時間がかかったようでした。又、葬儀のシーンでは、宇野さんは正に石膏の様なお顔になり、休憩時間には起きてこられて冗談をおっしゃるのです。「お棺に入っていると、肩が凝ってしようがない。誰か入って見ないか？」等と言って私たちが笑わせて下さり、常に子供たちと接触を持つように気を使って下さいました。そして、撮影が再開すると、本当に微動だにしない仮面の演技に戻るのですが、その変わり身の速さには、驚き、感心したものでした。



東京都平和祈念館(仮称)建設案の再検討を!

—東京空襲と戦争の記憶と継承、追悼を求めて—

谷津 志津

私たちの国は、昭和初期から敗戦まで、アジア・太平洋の国々の人々に言葉に表せない多くの被害を与え続けてきました。同時に私たちも、広島、長崎の原爆投下を受け数十万の尊い命が奪われました。東京も九カ月間の空襲を受け、数十万の死者を出し、いままも実数はわかりません。東京大空襲の被害は計り知れず、数多くの孤児が残されました。

東京都平和祈念館建設予定地 東京の下町西国の横綱町公園は関東大震災の被災地で震災を記念してつくられました。面積二万平方弱という狭い中に、復興記念館、慰霊堂、鐘楼などがあり、慰霊堂の正面には大震災で亡くなられた方の遺骨五万八千体が、氏名を刻まれて安置されています。

その裏側に、東京大空襲の死者の遺骨(十万五千四百体、うち、氏名判明者は四千名)が、三百体づつを一つの容器に収められ、天井近くまで何段も積まれて置かれています。

永年多くの遺族は、この粗末に扱われている遺骨を別の独立した場所に移すことを強く要望していました。遺族や都民は70年代から、東京大空襲の無残な死を遂げた死者の追悼と、その事実を伝える記念館の建設を都に求めています。97年10月より、遺族を含めた市民運動で「東京平和祈念館」建設案の再考を求める会を発足させ活動を続けています。都議会の一部の議員が侵略戦争の加害を認めず、悲惨ものは展示させない方向に政治勢力を強めています。歴史の真実を隠すことは許されません。戦争による一般市民の惨状を、人々に知らせ、後世に伝え、再び戦争を繰り返させない、平和への願いを誓う記念館と死者の追悼を求めます。

建の震災の復興記念館の三分の一もありません。しかもこの公園の一角は「水が出やすい場所」と地元の人々の疑問をだしました。費用も地上の数倍はかかります。記念館にかかわりやすい場所を空襲の被害の大きかった下町の江東区の木場公園、猿江公園は、交通の便もよく、記念館、納骨堂なども十分に建てられる広さがあり、私たちも調査して、都知事、都議会、建設委員会にこれらの場所に建設を提案しました。造園業者によると、適当な都市地は幾つもあるそうです。建設委員会でも、会を開く度に「別の場所に」という発言があり知事への報告書にも「場所の再検討を」の意見書を幾人もの方が提出されました。

意見書の中で、山本委員(東京被団協)は、「場所の判断の根拠となる情報を都が提供しないままに三回目に委員会多数決で決めた」ことを指摘しておられます。93年「東京都平和祈念館基本構想懇談会」(座長 永井道夫氏)が東京都に報告書を出しました。①東京空襲の犠牲者を悼み、都民の戦争体験の継承、②平和を学び考えること、③21世紀に向けた東京のシンボルとする、④平和に関する情報センターとする、という四つの柱をたてました。私たちが求める展示内容 ①東京都平和祈念館基本構想の四つの柱と東京アピールの尊重。②空襲の被害、悲惨な状況の展示。③アジア・太平洋への加害の事実と戦争の歴史を正確に展示し、戦争によって大きな被害を受けるのはいつも市民であることを学び、市民による平和の尊さを問いかける展示。④核兵器の人類に対する脅威が増大する中で、核兵器による被害、核の開発、使用の危険な状況を知らせ、広島・長崎や第五福竜丸の悲惨な被害を再び繰り返さないために、核の廃絶と軍縮を求める展示。追悼のあり方Ⅱ現在のような遺族から塔婆料を集める法要の仕方ではなく、どの宗教にも偏らない、花一輪の献花などを希みます。お願いⅡ十一月末までに東京都に平和祈念館建設についてのご意見を積極的に出してください。私たちが求める平和祈念館 横綱町公園ではなく、独立した場所に、空襲の記念館、納骨堂、(死者名簿の収集)、追悼碑を合わせて建設することを求めます。(東京都平和祈念館)の建設案の再考を求める会(世話人・草の実会会員)

一九五四年九月

吉田 一人

久保山愛吉さんの訃報と、田村町一丁目(現・東京都港区西新橋一丁目)にあった都電の停留所...

そう書いている。私の電停の記憶は、明るい時刻である。おそらく二十四日に田村町一丁目に乗ったのだろう...

三月から夏にかけて、第五福竜丸の乗組員たちが入院していた東大病院には何度か取材に行った...

第一回原水禁世界大会での被爆者の訴えは、参加者たちに大きな衝撃を与えた。開会総会では広島の高橋博昭さん、長崎の山口みさ子さんに続いて、久保山夫人のすずさんが登壇した...

示す「オーロラ」の碑がある。水爆実験への恐怖と怒りで始まった原水爆禁止署名運動は、久保山さんの死の悲しみとくやしさがばねとなって、燎原の火のように全国に広がった...

争がなくなった時こそ、広島・長崎の人々がほんとうによるこべる時だと思えます。平和を守るために、立場や考え方の違いをいうのではなく、原子戦争反対、その一つで手を取り合しましょう。割れるような拍手が会場を包んだ。私も、その会場ですずさんの訴えを聞いた一人である。

久保山忌と平和の芽

田 中 千 恵 子

第五福竜丸展示館の半身を包むようにコスモスの淡いピンクと黄花の群れ。「原水爆の被害者はわたしを最後にしてほしい」と刻まれた久保山愛吉さんの碑に寄り添ってたわわなザクロの実...

焼津まで秋空一枚遺言碑 連盟の仲間は第五福竜丸が東京湾のゴミの中に埋っていた頃からその保存運動に参加し、吟行も行って...

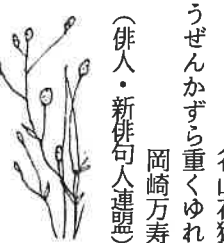
東京・夢の島で毎年久保山愛吉さんの記念集会を開いていた第五福竜丸平和協会から新俳句人連盟に呼びかけがあり、原爆忌東京俳句大会も賛同して、一九八一年第一回久保山忌句会が三者共催で開かれた。

作者の石塚真樹氏は新俳句人連盟の前会長で、第一回久保山忌句会から参加。見つめられる第五福竜丸の側から人々を見つめるという構成の中に、船の意思が描かれ

た秀逸な作品である。第五福竜丸の意思は船を見た人々の瞳に宿って日々旅立つ。数奇な運命をたどって夢の島に永久停泊することになった第五福竜丸だが、その場所は老船をいたわる安住の場所ということではない。

忌句会が開かれるはずだったが、展示館の修理と二九年間熊野灘に眠っていたエンジンの建屋工事のため、今年は三浦三崎で行われることになった。三崎は第五福竜丸が「第七事代丸」として建造されたふるさとの地でもある。

「熱い夏」となった。この「熱い夏」を持ち寄って夢の島で久保山



(俳人・新俳句人連盟)